

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
212	基層文化論 <Foundation on Culture >			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)	開講期 Semester	開講時間帯 Day and time	
日本文学	齋藤 文俊(SAITO, Fumitoshi)	後期	木曜：2限	
講義題目 Title	『通俗伊蘇普物語』を読む			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	前期・後期の連続受講が望ましい。			
授業の目的 Purpose	<p>『イソップ物語』は、日本で最初の本格的西洋小説の翻訳であり、現在にいたるまで何度も翻訳されています。「アリとキリギリス」「北風と太陽」などは有名ですね。その他、「ウサギとカメ」の話も『イソップ物語』に登場します。そこで、この『イソップ物語』を精読していくことで、「翻訳」という行為によって、日本語の表現がどのように変容したのかについて考えていきたいと思います。</p> <p>In this course, through reading the following text, participants are expected to understand</p> <p>1) the history of translation in Japan. 2) the features of Japanese Language and Culture.</p>			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>テキストは、明治初期の文明開化の時代に翻訳された『通俗伊蘇普物語』を使います。 (今年度は、巻之三を中心に読んでいきます)</p> <p>1. まず、それぞれ担当する話を決めます。</p> <p>2. 受講者は、担当した話について、テキストをしっかりと読んでください。 ○明治時代の言葉ですので、「古文」ほどは難しくありませんが、耳慣れない言葉もあります。 ○自分の知らない語句・気になる表現は『国語辞典』『漢和辞典』等さまざまな辞書や文献で調べてみてください。</p> <p>3. 原典や様々なイソップ物語のテキストと比較してみてください。また、興味があったら、他国語で翻訳された『イソップ物語』などとも比較してみてください。 ○明治初期に、英語の話・表現、そして西洋文化をどのように翻訳したのでしょうか。 ○同じ話でも、翻訳された時代・文化によってどのような差があるのでしょうか。</p> <p>4. 発表担当者は、2及び3について問題点を整理し、報告してください。</p> <p>5. 発表担当者以外の受講者は、ただ発表を聞くだけでなく、積極的に発言してください。</p> <p>6. 発表後は、演習中に指摘されたことをふまえ、補足調査を行い、期末レポートを作成します。</p>			
教科書 テキスト Textbooks	『通俗伊蘇普物語』(渡部温訳)、2001年、平凡社・東洋文庫693			
参考書 References	<p>『仮名草子集(古活字版 伊曾保物語)』1965年、岩波・日本古典文学大系90 大塚光信・来田隆(編)『エソポのハプラス 本文と総索引』1999年、清文堂 武藤禎夫『絵入り伊曾保物語を読む』1997年、東京堂出版 『イソップ寓話 その伝承と変容』小堀桂一郎 講談社学術文庫 その他多数(必要に応じて紹介していく)</p>			

受講生の 自宅学習 Preparation and review	全員、発表で扱われる話を事前に読み、興味・関心のあることがらについて調べておくこと。
成績評価の 方法と基準 Evaluation	出席（授業への参加も含む）30%、発表内容40%、期末レポート30%
連絡方法 Contact information	メール：fsaito@lit.nagoya-u.ac.jp